

飼い主のいない猫の不妊手術実施 (T N R) 事業の検証

T N R : Trap (捕獲)、Neuter (不妊去勢手術)、Return (元の場所に戻る) の頭文字を取った言葉
飼い主のいない猫の繁殖を抑え、自然淘汰で数を減らしていくことを目的とした活動

飼い主のいない猫の不妊手術に対する制度の経緯

年度	内容
平成15年	「船橋市犬及びねこの不妊手術助成金交付要綱」（飼い犬・飼い猫のみ）開始
平成23年	旧ガイドライン施行に伴い、「船橋市犬及びねこの不妊手術助成金交付要綱」で「地域猫」に関する助成金を交付
平成27年	より活動場所周辺への認知される地域猫活動を推進するため、地域猫活動団体の登録に際して、土地所有者の同意書、活動場所の町会・自治会長の同意書、更新制度等を導入した
平成28年	「飼い主のいない猫の不妊手術実施事業」の開始に伴い、飼い犬・飼い猫等の不妊手術の助成制度を廃止

TNR事業

目的

- 地域における飼い主のいない猫の繁殖の抑制

申請者

- 船橋市内の町会および自治会の長
- その他市長が必要があると認める者

対象となる猫

- 申請者が属する町会、自治会等に生息する飼い主のいない猫 (※飼い猫は対象外)

手術場所

- 委託先動物診療施設 または 動物愛護指導センター

申請の流れ

申請者

動物愛護指導センターに不妊手術の申請書類を提出

1回の申請につき
10頭まで
※申請回数に上限はなし

動物愛護指導センター

先着順に希望の手術実施場所に割り振り、決定通知を送付

申請者

猫を保護し、指定された手術場所に持ち込む

委託先動物診療施設
または
動物愛護指導センター

手術実施

不妊手術、耳カット

申請者

猫を元の場所付近の安全な場所に戻す

TNR事業の効果検証 相関関係分析の結果（第22回対策会議）



TNR事業の効果検証 今後の予定（第22回対策会議）

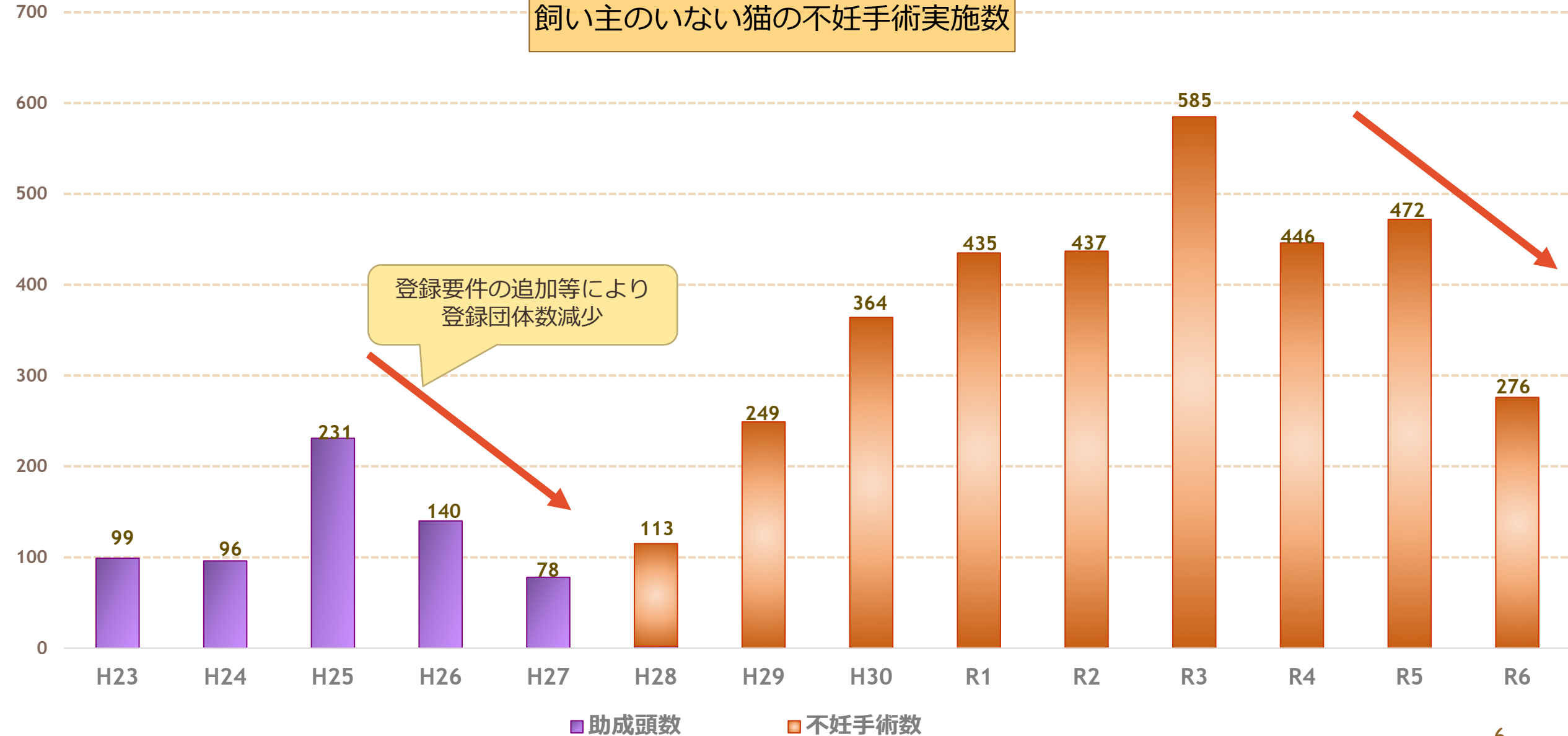
- TNR実施数と市に寄せられる猫に関する苦情申出数、所有者の判明しない91日齢未満の猫の収容数及び道路上の猫の死体回収数との相関分析については継続して実施
- TNR事業の地域ごとの実施数と、その地域から持ち込まれる所有者の判明しない91日齢未満の猫の数や道路上等の猫の死体回収数の比較
- TNR事業を実施した町会・自治会等へのアンケート調査を実施



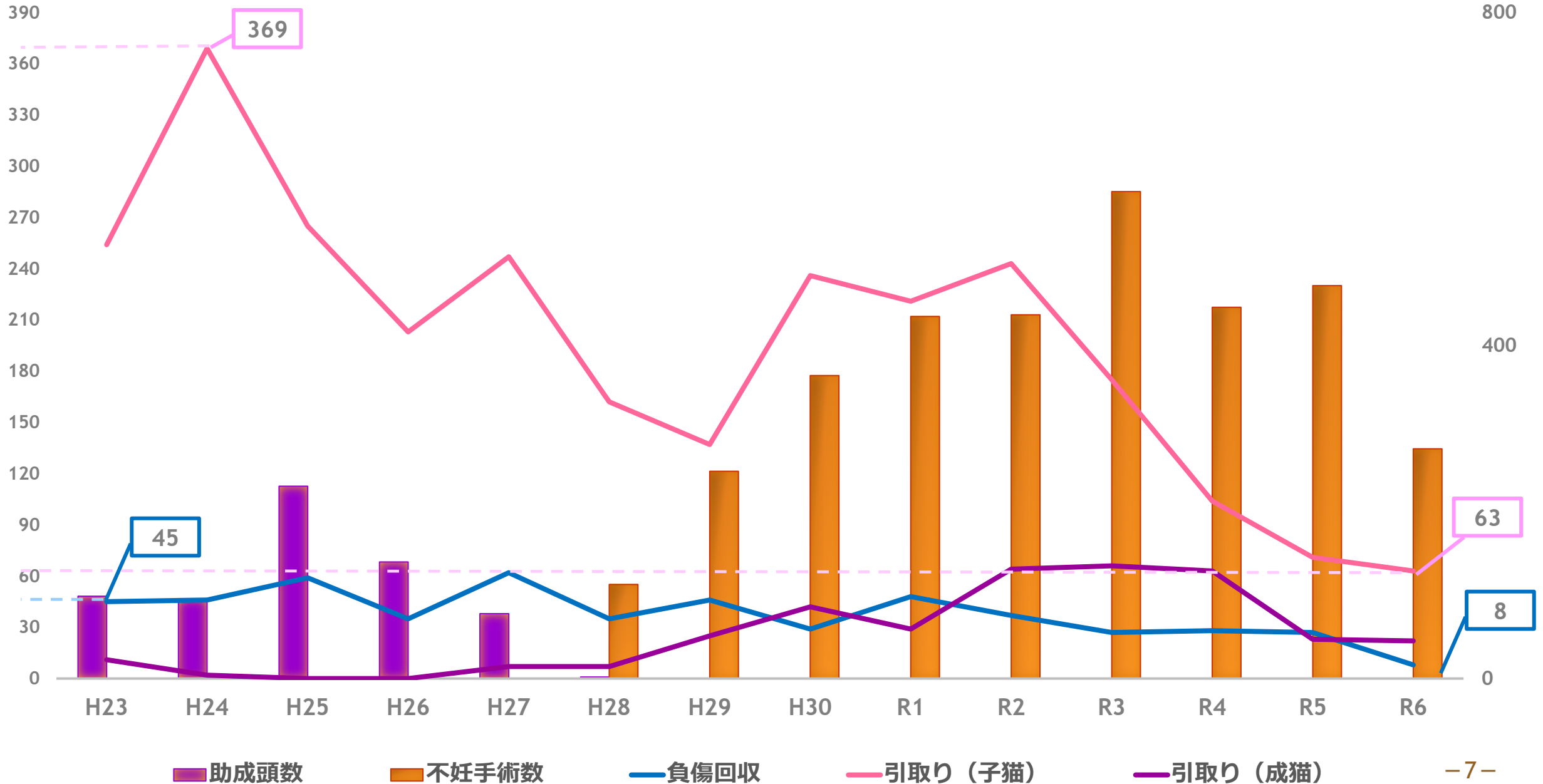
TNR事業のより効果的な方法の検討

船橋市における不妊手術制度の検証について

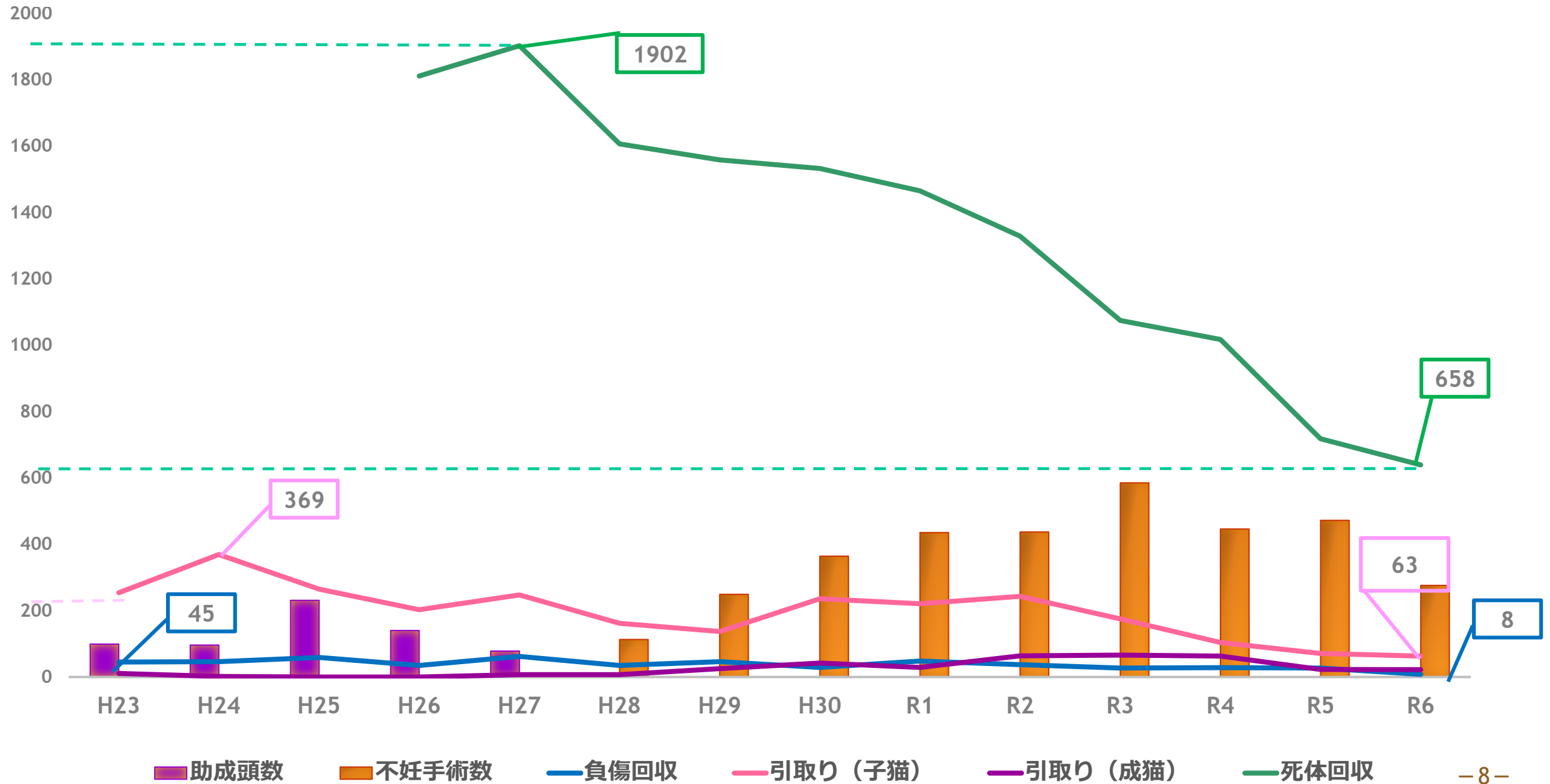
飼い主のいない猫の不妊手術実施数



船橋市における不妊手術の検証について



船橋市における不妊手術の検証について



不妊手術がもたらす猫の生態的影響の検討

①猫の性ホルモンによる行動

性ホルモンによる行動

- 発情したメス猫の臭いは、オス猫を交尾行動に駆り立てます
- メスとの交尾をめぐり、オス同士のケンカが起こります
- メス猫も発情期は落ち着きをなくします

「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」引用

屋外の猫のリスク

- **交通事故・ケンカによるケガ**
⇒負傷動物・路上死体
- **繁殖**
⇒子猫が生まれる・野良猫の数が増える
- **感染症**
⇒ケンカ傷や交尾により感染する
- **迷子**
- **鳴き声**

不妊手術のメリット

一般的におだやかな性格になり、特にオスでは、他のオスや人に対する攻撃や、マーキングが少なくなり、ケンカでケガを負ったりすることも少なくなる

②猫の繁殖について

繁殖を開始する年齢

- メス：生後4～12ヶ月 オス：生後8～12ヶ月 ※親子、兄妹同士でも繁殖する

繁殖能力

- 1年に2～3回出産が可能
(日が長くなると繁殖する季節繁殖動物、日照時間の長い南の地方や人工照明のある都会では、1年中繁殖できることがある)
- 交尾すれば高い確率で妊娠 (交尾の刺激で排卵する交尾排卵動物)
- 妊娠期間：2ヶ月 出産頭数：1回の出産で1～8頭の子猫を産む

1頭のメス猫が・・・1年後には20頭以上・・・2年後には80頭以上・・・3年後には2000頭以上に！



船橋市における不妊手術の検証について

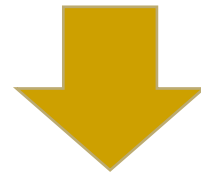
繁殖行動に起因する数字

- T N R 事業の経過とともに子猫の引取数が減少

屋外にいる猫の密度に関連する数字

攻撃性・支配欲に起因する数字

- T N R 事業の経過とともに路上での猫の死体回収数が**大幅に減少**
- T N R 事業の経過とともに負傷動物の収容が減少



**T N R 頭数の増加により、船橋市内の飼い主のいない猫数の減少に
寄与している可能性が示唆される**

TNR事業アンケート

TNR事業アンケート

目的

- 飼い主のいない猫に対する不妊手術実施事業の効果の検証のため

対象

- 令和5及び令和6年度にTNR事業に申請した292団体のうち、重複して申請している団体を除いた110団体

回答率

- 約45%（110団体中50団体から回答）

回答者の内訳

- 申請者（町会および自治会の長、市内事業所の施設長）：約32%（16団体）
- 担当者（猫を保護し、搬送をする者）：約66%（33団体）
- 記載なし：約2%（1団体）

回答期間

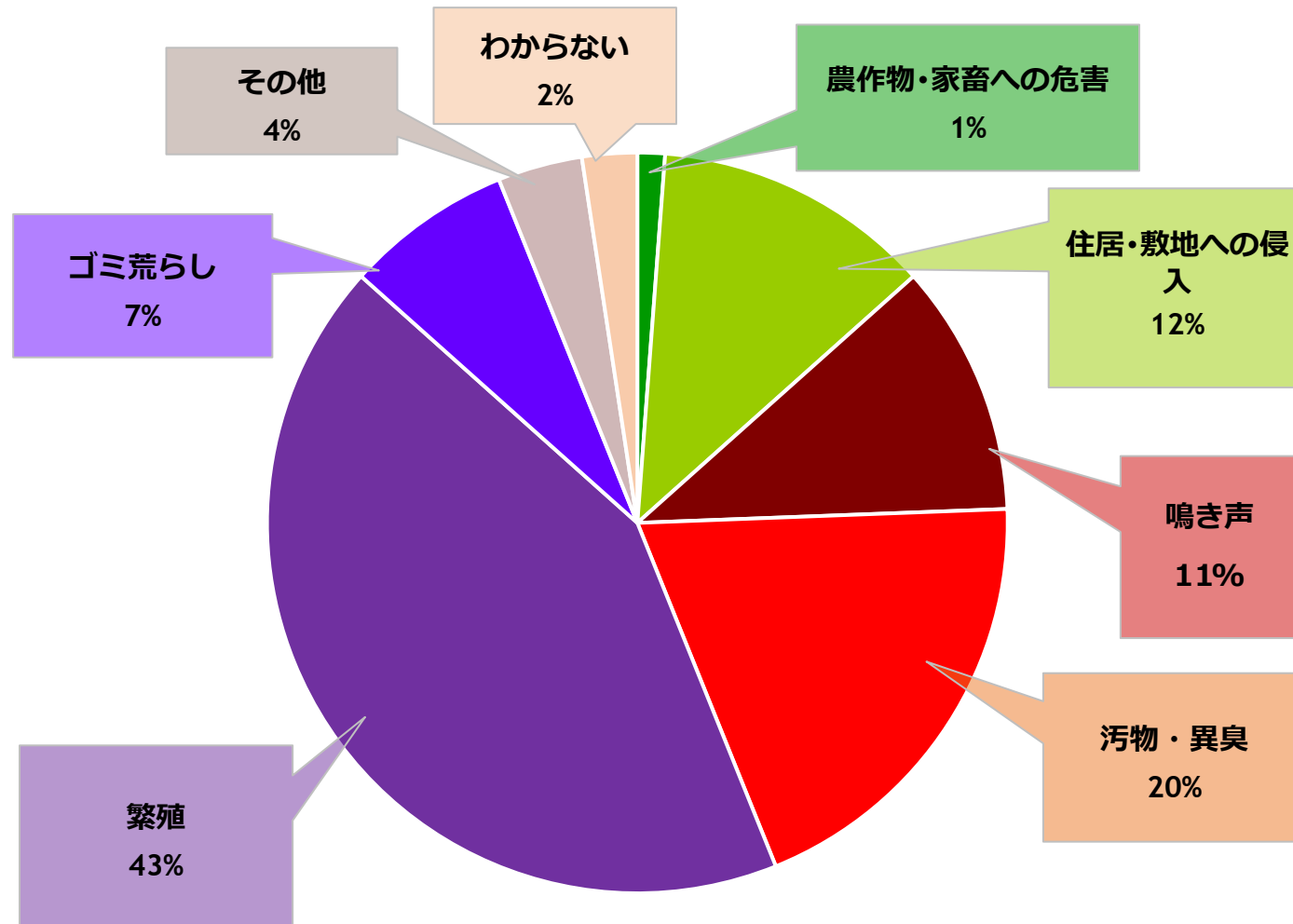
- 令和7年3月25日～令和7年4月14日

TNR事業アンケート内容

(不妊手術の実施が関与すると考えられる内容を抜粋)

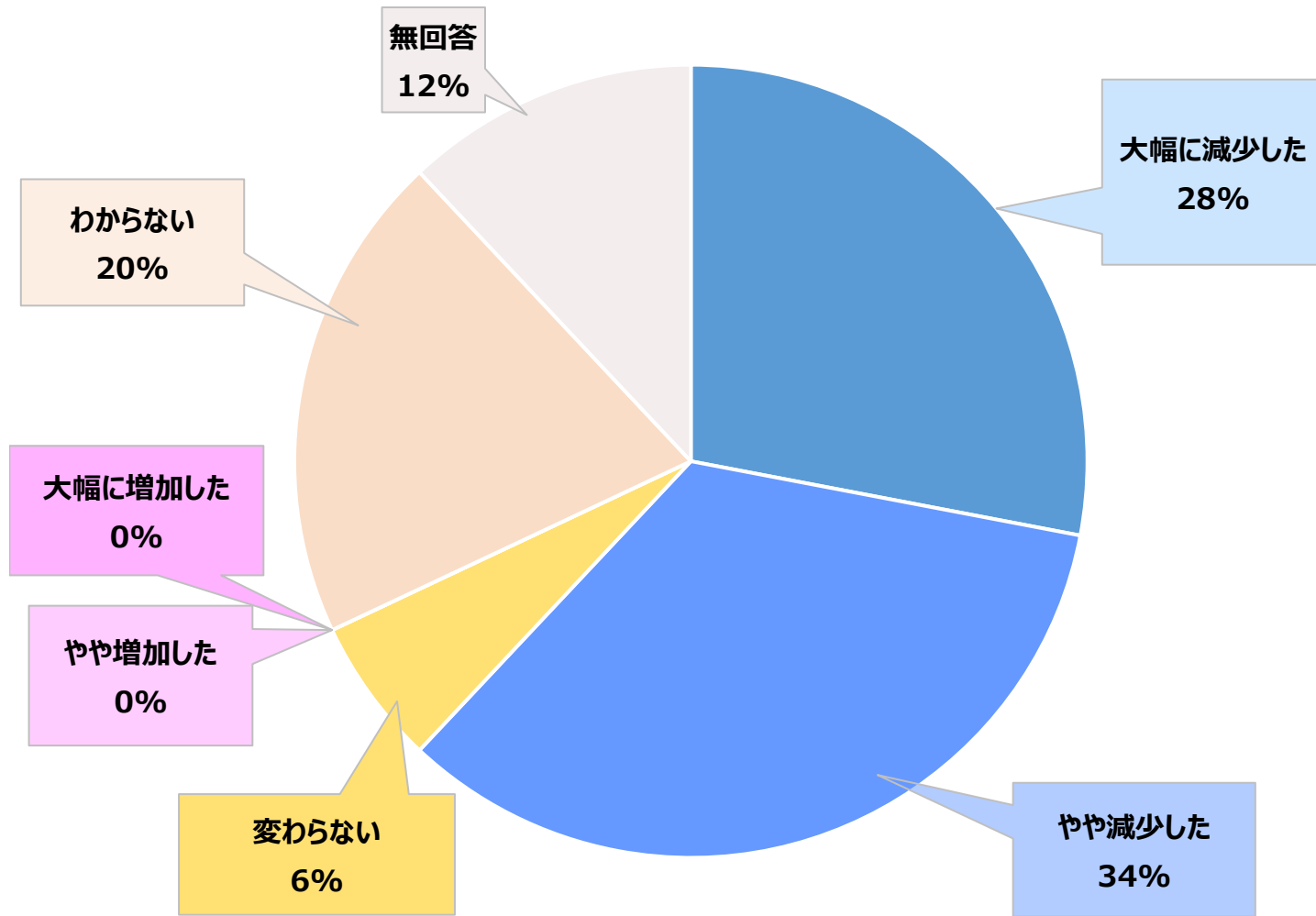
- ① 不妊手術実施前に、町会・自治会、団体のエリアで猫が問題になっていた点
- ② 不妊手術実施後、選択した猫の問題は減少したか
- ③ 不妊手術実施後、野良猫に対する住民の苦情・相談は減少したか
- ④ 不妊手術実施後、周辺地域で新たに野良の子猫を見かけたか
- ⑤ 不妊手術実施後周辺地域で野良猫同士のけんかを見かけたか

① T N R実施前に、町会・自治会、団体のエリアで猫が問題になっていた点（複数選択可）



全回答数 (複数選択可)	82件
農作物等	1件
住居等	10件
鳴き声	9件
繁殖	35件
汚物等	16件
ゴミ荒らし	6件
その他	3件
わからない	2件

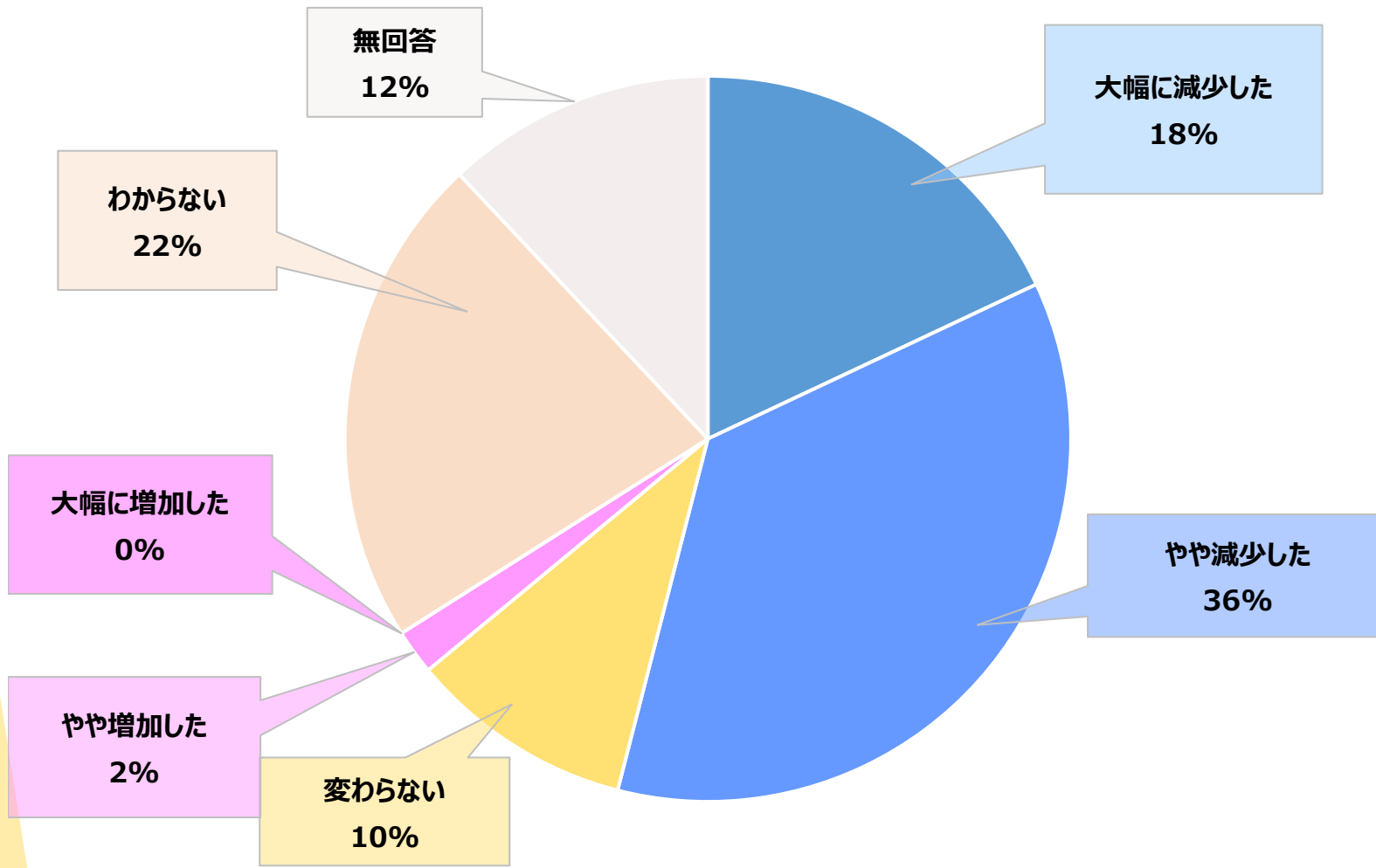
② T N R 実施後、選択した猫の問題は減少したか



全回答数	50件
大幅に減少した	14件
やや減少した	17件
変わらない	3件
やや増加した	0件
大幅に増加した	0件
わからない	10件
無回答	6件

回答者の62%が猫に関する問題の減少を報告した

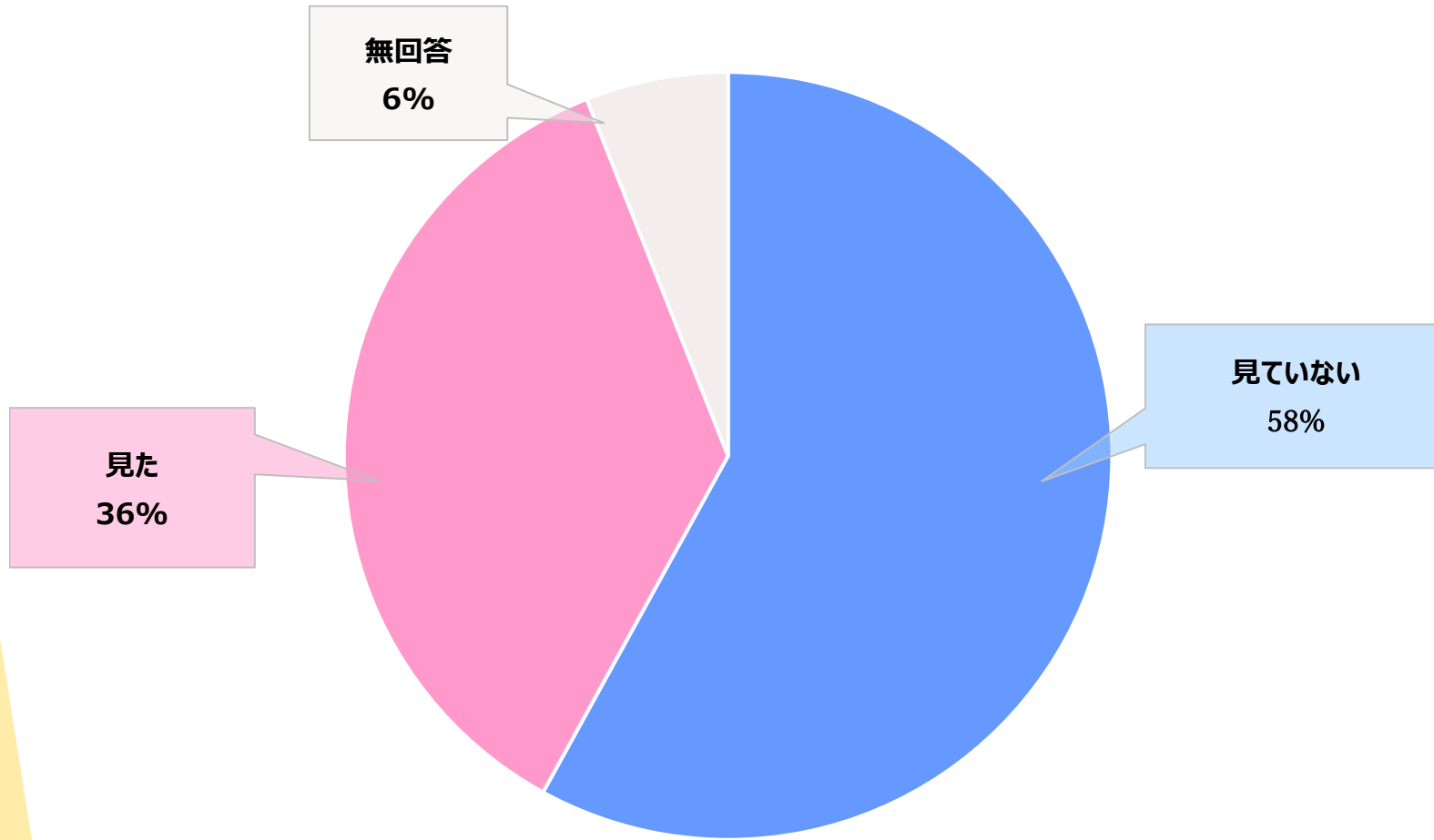
③ T N R 実施後、野良猫に対する住民の苦情・相談は減少したか



全回答数	50件
大幅に減少した	9件
やや減少した	18件
変わらない	5件
やや増加した	1件
大幅に増加した	0件
わからない	11件
無回答	6件

回答者の54%が猫に関する苦情・相談の減少を報告した

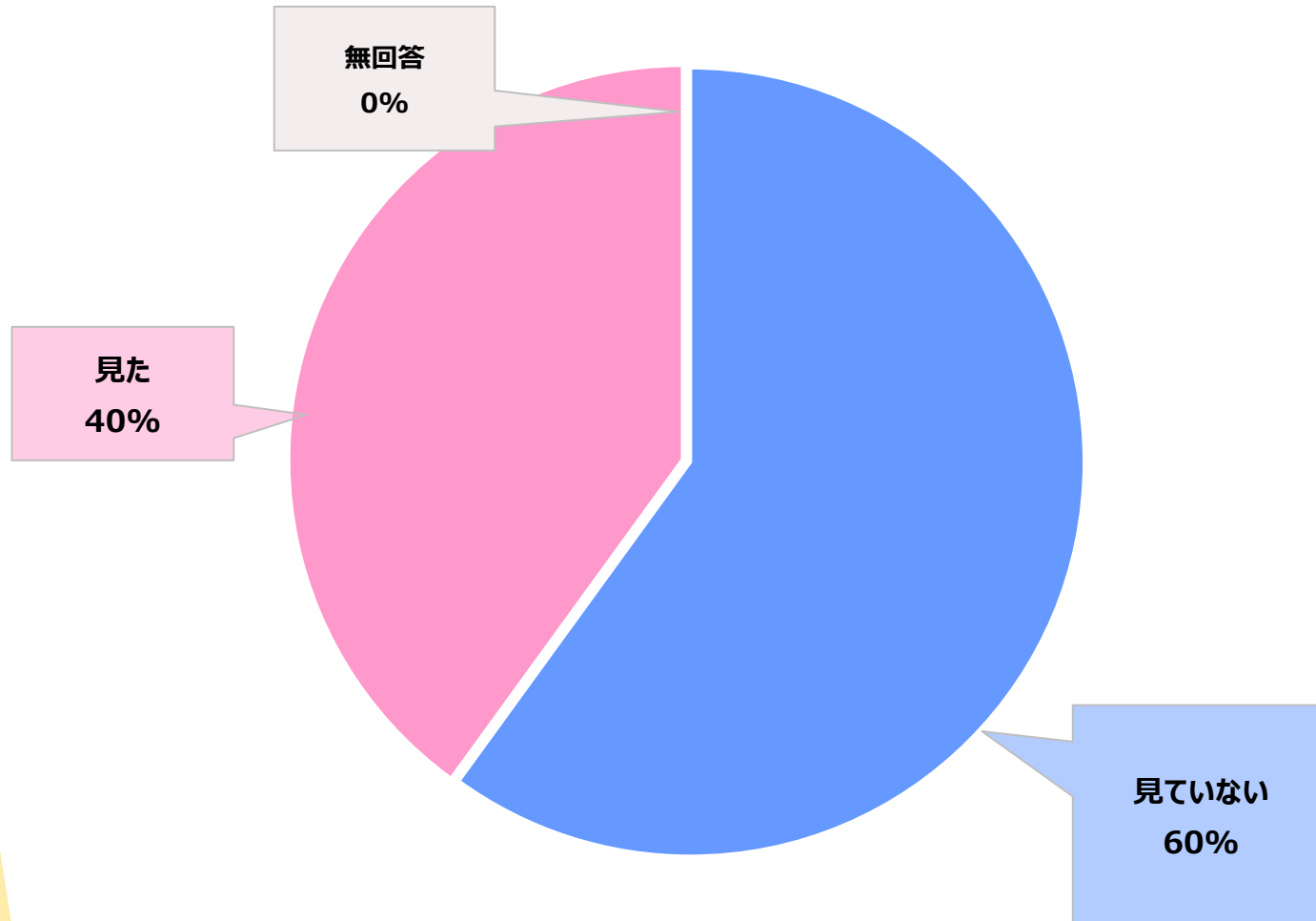
④ T N R 実施後、周辺地域で新たに野良の子猫を見かけたか



全回答数	50件
見ていない	29件
見た	18件
無回答	3件

回答者の58%が子猫を見ていないと報告した

⑤ T N R 実施後、周辺地域で野良猫同士のけんかを見かけたか



全回答数	50件
見ていない	30件
見た	20件
無回答	0件

回答者の60%が猫同士のけんかを見ていないと報告した

TNR事業の効果検証アンケート まとめ

不妊手術による効果

- アンケート内容（下記②～⑤）のすべてで回答者の過半数が減少していると感じている
 - ②猫の問題
 - ③野良猫に対する住民の苦情・相談
 - ④野良猫の子猫の目撃
 - ⑤野良猫同士のケンカの目撃
- 一方で、回答者の半数弱において各アンケート内容に対する回答が「変わらない」「分からない」「無回答」であり、TNR事業の効果については不明瞭であり肯定するまでに至らない様子であった

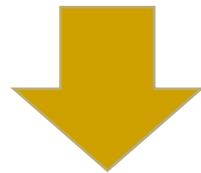
TNR事業の効果検証 まとめ

不妊手術による効果（センターの統計数）

- 不妊手術実施頭数が増加に伴い、負傷動物数・引取りの子猫数・死体回収数が減少している可能性を示唆している

不妊手術による効果（アンケート結果）

- 不妊手術を実施することにより、猫の繁殖やケンカなどが抑制され、地域内の野良猫に関する苦情・相談等が減少していると感じている者が過半数いるが、効果について明瞭でないと感じる者も半数弱いる



TNR事業は一定の効果を得られている可能性が示唆されるため、今後も継続して実施する
また、効果的なTNR事業の実施と評価のためフォローアップを行っていく